

令和2年度学校評価の課題と改善に向けた具体的な取組等について

- 1 学校経営 学校と地域や保護者との互恵的な関係の中で学校教育目標が策定できるように情報の共有化を図り、協働的な取組を推進する。教育方針に対する生徒の理解や満足度がやや低い。令和3年度には、スクールポリシーを作成し、それを柱にカリキュラム・マネジメントの中で一貫した指導を推進する。
- 2 学習指導 次期学習指導要領の内容を視野に入れ、授業見学、研究授業、授業アンケート等による授業改善を継続して行う。令和4年度の1年生から導入予定のBYODによる1人1台端末の有効な活用方法について具体的に検討と教員研修を進めていかなければならない。また本校がめざす「文武両道」を実現するため、充実した班活動と、見通しをもった学習の両立ができるよう、継続的な指導を行う。
- 3 生徒指導 日常の丁寧な生徒観察やアンケート等により生徒の実態を把握し、いじめの未然防止・早期発見などに努める。また、遅刻指導、交通安全指導を継続し、保護者や地域との協働的な取組も進めながら健全で安心安全な学校環境を整える。
- 4 進路指導 個別面談や進路講演会など進路意識を高める取組によって、生徒の主体的な進路決定を支援する。本校の進路指導の方針について、研修会や保護者会、「進路のしおり(てびき)」を使った説明会等を通じて、生徒や保護者が理解を深めるようにする。高大接続改革の動向について、情報の収集と共有に努め、組織的に対応できる態勢を整える。
- 5 特別活動等 生徒が学習と班活動との両立に課題を感じていることから、生徒自身が班活動や生徒会活動・ホームルーム活動と学習を両立できるよう、教育相談などで支援していく。
- 6 学校図書館 探究活動や教科等の学習のための活用機会を増やすなど、図書館の利用を促進する。生徒の読書時間が減少傾向にあるため、生徒が図書館に足を向け、読書習慣が定着するよう、図書通信の発行や特設コーナーの設置などにより、啓発を続けていく。
- 7 保健・安全指導 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の対策を徹底する。父母教師の会と連携して、防災への取組を充実させ、保健や安全、危機への意識を生徒・保護者と共有できるようにする。防災訓練を通して防災意識を高めるとともに地域とも連携し、災害時に備える。
- 8 人権教育 3年間の体系的な人権教育計画に基づいた講演会や生徒の主体的な取組を通して、正しい理解に基づいた人権意識の一層の向上をめざす。
- 9 環境教育 ごみゼロ運動等の地域の清掃活動に参加することや、日常の校内清掃活動の充実により、環境美化への意識を高める。
- 10 事務・管理 安全安心な環境を整えるため、継続的な安全確認と、経年劣化している箇所の設備等の修理や整備を行う。
- 11 その他 文部科学省から4期目の指定継続が認められたSSH事業において、「変革を起こす力をもった科学技術人材の育成」を目指す教育活動を充実させる。ホームページをリニューアルし、スマートフォンにも対応したよりセキュリティの高いものとし、積極的な情報発信に努める。